



1. 商品等の内容	
金融商品の名称・種類	三井住友信託ファンドラップ (商品区分: ファンドラップ) 資産分散型 (投資一任運用商品)
組成会社 (運用会社)	三井住友信託銀行株式会社 投資一任運用商品を専門に担う投資顧問業務部が、年金運用を担う部署の専門的知見を含むさまざまな分析に基づく投資判断、投資判断に基づく売買発注を行います。
販売会社 (投資一任契約の締結先)	三井住友信託銀行株式会社
金融商品の目的・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三井住友信託ファンドラップは、資産・戦略・投資信託の各レベルでの徹底した分散投資等により、世界経済の中長期の成長を享受し、安定的な運用を実現することで、お客さまの長期・分散投資をサポートする商品です。運用タイプとして、複数の資産クラスに投資する資産分散型、株式資産のみに投資する株式特化型があります。本資料は、資産分散型を対象としています。株式特化型については、「重要情報シート(個別商品編)三井住友信託ファンドラップ:株式特化型」をご覧ください。</li> <li>●お客さまの資産状況や投資目的などをお伺いし、5つの運用コース・3つの運用タイプの計15種類の資産配分(ポートフォリオ)の中からお客さまにとって最も適していると当社が考えるポートフォリオをご提案します。提案内容に合意いただいたお客さまと投資一任契約を締結の上、当社がお客さまから一任された範囲の中で投資を行う資産運用サービスです。</li> <li>●ファンドラップを特定口座でご利用いただく方は、組入投資信託をNISA成長投資枠で運用することを選択いただけます。詳細は、「NISAオプションのご利用にあたって」をご確認ください。</li> </ul>
当社が想定するお客さま層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容いただける方。</li> <li>●特に、次のような方におすすめしています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●まとまった資産での運用を検討しているが、どのような運用方法が自分に適しているかお悩みの方。</li> <li>●忙しくて資産運用には時間が取れない方。</li> <li>●いろいろと投資はしているが、自分で全体の資産管理をするのが難しい方。</li> <li>●現在投資信託を保有しているが、このまま持ち続けていいのか売るべきなのかお悩みの方。</li> <li>●資産運用のスタートや見直しに際し、お申込手数料が気になる方。</li> </ul> </li> <li>●収益性を重視し株式などの資産の配分比率を高めた【積極的】、安定性を重視し債券などの資産への配分比率を高めた【保守的】、収益性と安定性のバランスを重視した【中庸】など、お客さまの投資意向やリスク許容度に応じて5つの運用コースを用意しております。</li> </ul>
パッケージ化の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この金融商品の主な投資対象は、三井住友信託ファンドラップ専用の国内投資信託です。</li> <li>●これら国内投資信託を個別の金融商品として購入することはできません。</li> </ul>
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ制度の適用はありません。

- 右のようなご質問があればお問い合わせください。
- ①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
  - ②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
  - ③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。
  - ④投資一任契約とは何か。投資信託を購入するのとどう違うか。

## 2. リスクと運用実績(本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三井住友信託ファンドラップは、国内投資信託を投資対象としています。投資対象の投資信託の基準価額は、それぞれが組み入れた有価証券等の値動きや為替相場の影響を受け、各投資信託の投資金額を割り込むことがあります。これにより、三井住友信託ファンドラップの運用資産の時価評価額も投資元本を割り込むことがあります。</li> <li>●三井住友信託ファンドラップの運用資産に生じた利益および損失はお客さまに帰属します。</li> <li>●組入対象とする国内投資信託の基準価額を変動させる主なリスクとしては次のものがあげられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 株価変動リスク ▶ 金利変動リスク ▶ 信用リスク ▶ 流動性リスク</li> <li>▶ 為替リスク・外国証券へ投資するリスク ▶ 特定のインデックス(指標)と連動するリスク</li> </ul> </li> </ul>
(参考) 過去1年間の収益率	三井住友信託ファンドラップのモデルリターン(【中庸】コースの場合)(2025年1月末現在) ●【8資産分散型】8.3% 【7資産分散型】8.5% 【4資産分散型】9.6% モデルリターンの作成基準、運用タイプ別・運用コース別モデルリターンについては別紙ご参照
(参考) 過去5年間の収益率	三井住友信託ファンドラップのモデルリターン(【中庸】コースの場合) ●【8資産分散型】平均5.8% 最低-7.1%(2020年3月) 最高20.5%(2021年3月) ●【7資産分散型】平均6.2% 最低-8.6%(2020年3月) 最高23.3%(2021年3月) ●【4資産分散型】平均8.8% 最低-7.6%(2020年3月) 最高27.6%(2021年3月) (過去5年間の各月末における直近1年間の値) モデルリターンの作成基準、運用タイプ別・運用コース別モデルリターンについては別紙ご参照

\*損失リスクの内容の詳細は「三井住友信託ファンドラップご契約にあたって」(以下「契約締結前交付書面」)の「Ⅱ. リスクについて」に記載しています。

- 右のようなご質問があればお問い合わせください。
- ⑤上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
  - ⑥相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

### 3. 費用(本商品の保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	ございません。
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	お客さまにご負担いただく費用には、直接ご負担いただく費用(投資顧問報酬)と、間接的にご負担いただく費用(投資対象に係る信託報酬等)があります。(以下、料率については消費税等込にて表示) ●直接ご負担いただく費用 投資顧問報酬の報酬タイプには、固定報酬型と成功報酬併用型があります。お客さまの運用資産の時価評価額(時価残高)に対して、固定報酬型は上限年率1.540%を乗じた額、成功報酬併用型は上限年率1.023%を乗じた額を固定報酬としてお支払いいただきます。(固定報酬率の詳細については別紙ご参照) ●間接的にご負担いただく費用 投資対象となる国内投資信託については、信託報酬(信託財産に対し最大年率0.935%、なお、商品により別途運用実績に基づき計算される成功報酬がかかる場合があります。)をご負担いただきます。また、商品により購入時・解約時に信託財産留保額(基準価額に対し最大0.3%)をご負担いただく場合があります。また、売買等の取引費用や監査費用等のその他費用が運用資産より差し引かれます。 ●投資顧問報酬と提供サービス、ご負担いただく費用の内訳については別紙をご参照ください。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	●成功報酬併用型では固定報酬に加えて、契約更新時と契約終了時に運用成果に応じた成功報酬をお支払いいただきます。運用成果の額に対し16.5%(消費税等込)の成功報酬率を乗じた金額となります。

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面の「V. 報酬の額および支払の時期に関する事項」に記載しています。

右のようなご質問があれば  
お問い合わせてください。

⑦私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。  
⑧費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

### 4. 換金・解約の条件(本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

- 契約期間中の全部解約および契約資産の減額(一部解約)は、新規契約時の運用開始日の3カ月後の応当日以降、毎営業日お申し込み可能です。なお、一部解約は10万円以上1円単位となります。また、受付日前営業日の運用資産の時価評価額から一部解約額を差し引いた額が500万円を下回る一部解約はできません。手続日から起算し、原則9営業日目に換金いたします。
- 契約期間は、契約締結日から期間満了日までとします。ここで「期間満了日」は、新規契約時の運用開始日から1年または5年(契約期間タイプとして定めた期間)後応当日の直前四半期末営業日とします。ただし、期間満了日前の所定の期日までにお客さまから契約終了の申し出がない場合には、同じ契約期間タイプで自動的に更新されるものとします。なお、所定の期日までにお手続きいただいた場合でも、ファンド休業日等によっては、期間満了日での契約終了とならない場合があります。

※詳細は契約締結前交付書面の「IV. 三井住友信託ファンドラップの概要」に記載しています。

右のようなご質問があれば  
お問い合わせてください。

⑨私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

### 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- お客さまが当社とこの投資一任運用商品を契約した場合、契約期間中、当社は、前述の投資顧問報酬に加えて、投資対象となる投資信託を設定する法人から信託報酬のうち最大年率0.275%(消費税等込)の販売会社報酬を頂きます。これらは投資一任契約に基づく役務、投資信託に係る各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価です。
- 投資対象となる投資信託を設定する法人のうち、以下は当社関係法人等(当社が助言を行う非関係法人等を含む)に該当します。
  - 三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)
  - 日興アセットマネジメント(株)(2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。)
- ここで、投資対象となる投資信託には、当社または当社の関係法人等が助言を行いまは運用再委託を受ける非関係法人等設定投信の受益証券(当社の関係法人等以外の者が設定を行う投資信託の受益証券を指します。)を含むものとします。
- 当社は、当社が助言を行う投資信託を設定する法人から、投資信託の純資産総額の最大年率0.055%の助言報酬を受領します。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその管理方針について、当社ホームページの「利益相反管理方針(概要)」をご参照ください。

<https://www.smtb.jp/general/management>

右のようなご質問があれば  
お問い合わせてください。

⑩あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

### 6. 租税の概要(NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください)

- お客さまの契約資産は、国内投資信託により運用されますので、国内投資信託の収益分配金、売却(償還を含む)により譲渡益が発生した場合は、その譲渡益に対して課税されます。
- 特定口座の「源泉徴収あり口座」での取引の場合、契約終了受付時に保有している投資信託の時価評価額の合計額が契約金額を上回っていても、譲渡益にかかる源泉徴収税や未払いの投資顧問報酬の控除等により、お受取金額が契約金額を下回る場合があります。
- 三井住友信託ファンドラップを特定口座でご利用いただく方は、組入投資信託をNISA成長投資枠で運用することを選択いただけます。詳細は、「NISAオプションのご利用にあたって」をご確認ください。この商品は当社でのiDeCoでは取扱いを行っておりません。

※詳細は契約締結前交付書面の「VII. 投資運用業務の内容および方法の概要」に記載しています。

### 7. その他参考情報(契約にあたっては、営業職員から冊子でお渡しする次の書面をよくご覧ください)

- 「三井住友信託ファンドラップ パンフレット」「三井住友信託ファンドラップ 商品説明書」
- 「三井住友信託ファンドラップ 投資一任契約関連書面」(契約締結前交付書面、投資一任契約約款を含みます)



## 三井住友信託ファンドラップ(別紙)

### ■モデルリターンの作成基準について

本資料における三井住友信託ファンドラップのモデルリターンは、投資対象となる投資信託の基準価額と年度基本資産配分をもとに、以下の前提のシミュレーションにより算出しています。本シミュレーションは将来の運用成果等を保証するものではありません。

- 年度基本資産配分の変更、資産内での標準スタイルミックスの変更については、お客さまへの比率適用の開始日に全資産に対して実施したものとします。原則として四半期ごとに行っている定例のリバランス(時価変動による年度基本資産配分からの乖離を修正する投資行動)については、実施した月の月初に全資産に対して実施したものとします。
- 市場急変時等に、臨時でリバランスを行った場合については投資行動の開始日に全資産に対して実施したものとします。
- 投資信託の売買等により発生する譲渡税等については考慮していません。
- 投資顧問報酬については、年率1.40%(+税※)を日割計算して控除しています。※消費税等の税率の変化を反映しています。
- 現金については、預金等による金利は反映していません。

### ■期待リターン、想定リスク算出の基礎データについて

期待リターン、想定リスクは、主に以下の基礎データを用いて算出しています(円ベース・円ヘッジベースは当社にて換算)。

資産	基礎データ元
国内株式	TOPIX(配当込)
国内債券	NOMURA-BPI総合
外国株式	MSCI AC WORLD(除く日本)(配当込・GROSS)円ベース
外国債券	FTSE 世界国債(除く日本)円ベース、JP Morgan GBI-EM Global Diversified円ベース
J-REIT	東証 REIT 指数(配当込)
G-REIT	S&P Developed REIT(除く日本)円ベース
コモディティ	Bloomberg Commodity Index(円ベース)、LBMA Gold Price PM(円ヘッジベース)
ヘッジファンド	HFRX Global Hedge Fund(円ヘッジベース)
短期金融資産	無担保コール翌日物

### ■運用タイプ別・運用コース別のパフォーマンス

8 資産分散型	想定リスク	期待リターン (費用差引後)	過去1年間の モデルリターン (費用差引後)	過去5年間のモデルリターン(費用差引後)		
				平均	最低	最高
積極的	12.4%	3.0%	12.3%	8.8%	-9.9%	30.0%
やや積極的	10.9%	2.5%	10.3%	7.3%	-8.6%	25.3%
中庸	9.4%	2.0%	8.3%	5.8%	-7.1%	20.5%
やや保守的	8.4%	1.7%	6.9%	4.6%	-6.6%	17.7%
保守的	6.9%	1.3%	5.2%	3.2%	-5.9%	14.8%

  

7 資産分散型	想定リスク	期待リターン (費用差引後)	過去1年間の モデルリターン (費用差引後)	過去5年間のモデルリターン(費用差引後)		
				平均	最低	最高
積極的	12.6%	3.0%	12.3%	9.2%	-10.9%	32.0%
やや積極的	11.0%	2.5%	10.4%	7.7%	-9.7%	27.8%
中庸	9.6%	2.0%	8.5%	6.2%	-8.6%	23.3%
やや保守的	8.5%	1.7%	7.1%	5.0%	-7.7%	20.1%
保守的	7.2%	1.3%	5.7%	3.8%	-6.8%	16.7%

  

4 資産分散型	想定リスク	期待リターン (費用差引後)	過去1年間の モデルリターン (費用差引後)	過去5年間のモデルリターン(費用差引後)		
				平均	最低	最高
積極的	12.8%	3.0%	13.6%	12.1%	-11.0%	38.8%
やや積極的	11.2%	2.5%	11.7%	10.7%	-9.4%	33.6%
中庸	9.8%	2.0%	9.6%	8.8%	-7.6%	27.6%
やや保守的	8.7%	1.7%	7.8%	7.1%	-6.5%	22.1%
保守的	7.4%	1.2%	5.5%	4.9%	-6.8%	16.2%

2025年1月末現在の値です。過去5年間のモデルリターンは、過去5年間の各月末における直近1年間の値です。期待リターン(費用差引後)は、長期保有優遇制度の適用前の値です。

### ■三井住友信託ファンドラップの提供サービスと投資顧問報酬

三井住友信託ファンドラップは、以下のような資産運用、コンサルティング・アフターフォローなどがセットになった商品です。特に、コンサルティング・アフターフォローについては、商品の仕組みとして一般的なバランス型投資信託ではみられない、充実したサービスが組み込まれています。これにより、三井住友信託ファンドラップでは、お客さまのニーズに寄り添い充実したサービスを提供いたします。

項目		主な提供サービス	投資顧問報酬の内訳 (資産分散型、 年率・消費税等込)
運用サービス	資産運用	運用方針策定の基礎となる経済・市場環境の調査・分析	0.66%
		市場環境の調査・分析結果を踏まえた、運用基本方針の策定	
		資産配分変更や銘柄選定などの投資判断および執行	
コンサルティング・ アフターフォロー 管理サービス	コンサルティング・ アフターフォロー	ポートフォリオ全体や個別銘柄のモニタリングを通じた運用見直し	0.88%
		お客さまごとのリスク許容度診断、診断結果を踏まえたポートフォリオの提案 (三井住友信託ファンドラップでは、専用のヒアリングシート・提案書を使用し、運用タイプ・運用コースを提案します)	
		ライフステージの変化を踏まえた運用コース等の見直し提案	
		お客さまのニーズに応じた三井住友信託ファンドラップの各種機能等 <sup>*</sup> を活用したコンサルティングの実践 <small>※各種機能等：運用タイプ・コース、エントリー分散、利益払出、定時払戻、運用資金待機コース、プロフィットロック・ロスカット、NISAオプション</small>	
	お客さまごとの「三井住友信託ファンドラップ運用報告書」による運用状況説明、運用報告会の開催、各種レポート等投資に関する情報の提供		
契約管理	投資一任契約の締結、変更・終了の管理 保有銘柄、口数の管理(売買執行含む)、預金口座との資金振替 投資顧問報酬の計算・管理		

### ■ご負担いただく費用等について(運用管理費用の概算(年率・消費税等込))

8 資産分散型	投資顧問報酬			投資信託の信託報酬			合計		
	当初2年間	2年経過後	5年経過後	販売会社	委託会社	受託会社	当初2年間	2年経過後	5年経過後
積極的	1.540%	1.078%	0.770%	0.22%	0.60%	0.06%	2.42%	1.96%	1.65%
やや積極的				0.22%	0.57%	0.06%	2.39%	1.93%	1.62%
中庸				0.21%	0.54%	0.05%	2.34%	1.88%	1.57%
やや保守的				0.21%	0.51%	0.05%	2.31%	1.85%	1.54%
保守的				0.21%	0.49%	0.05%	2.29%	1.83%	1.52%
7 資産分散型	投資顧問報酬			投資信託の信託報酬			合計		
	当初2年間	2年経過後	5年経過後	販売会社	委託会社	受託会社	当初2年間	2年経過後	5年経過後
積極的	1.540%	1.078%	0.770%	0.22%	0.60%	0.06%	2.42%	1.96%	1.65%
やや積極的				0.22%	0.57%	0.06%	2.39%	1.93%	1.62%
中庸				0.22%	0.54%	0.06%	2.36%	1.90%	1.59%
やや保守的				0.22%	0.52%	0.06%	2.34%	1.88%	1.57%
保守的				0.22%	0.49%	0.06%	2.31%	1.85%	1.54%
4 資産分散型	投資顧問報酬			投資信託の信託報酬			合計		
	当初2年間	2年経過後	5年経過後	販売会社	委託会社	受託会社	当初2年間	2年経過後	5年経過後
積極的	1.540%	1.078%	0.770%	0.22%	0.67%	0.06%	2.49%	2.03%	1.72%
やや積極的				0.22%	0.63%	0.06%	2.45%	1.99%	1.68%
中庸				0.22%	0.60%	0.06%	2.42%	1.96%	1.65%
やや保守的				0.22%	0.57%	0.06%	2.39%	1.93%	1.62%
保守的				0.23%	0.54%	0.06%	2.37%	1.91%	1.60%

- 投資顧問報酬は、固定報酬型の2,000万円以下の部分にかかる固定報酬率を適用しています。
  - 投資信託の信託報酬は、ファンドラップの組入投資信託の信託報酬を本資料作成日時時点で決定している各コースの組入比率に応じて加重平均した概算値です。投資信託および合計の運用管理費用は、小数点以下2桁まで表示しています。
- ファンドオブファンズの場合、ファンドオブファンズにかかる信託報酬とその組入ファンドにかかる信託報酬等(※)を合わせて算出しています。  
※組入ファンドの信託報酬等(基準日時点で知りうる最新の値。他ファンドに投資する場合はその信託報酬等を含む)をファンドオブファンズ全体に対する組入比率に応じて加重平均した概算値です。なお、組入ファンドにより別途、成功報酬、その他管理費用、監査費用等がかかる場合があります。

### ■固定報酬率について

固定報酬は、運用資産の時価評価額を計算基準額とし、計算基準額に対して下表の固定報酬率を乗じた金額となります。なお、三井住友信託ファンドラップでは、お客さまの長期の資産形成を促進するための長期保有優遇制度があり、新規契約時の運用開始日の2年後および5年後の応当日が属する計算期間の翌計算期間以降について、引下げ後の料率が適用されます。また、エントリー分散中の固定報酬は、投資資産比率に応じた報酬率を適用します。詳細は「三井住友信託ファンドラップパンフレット」等をご覧ください。

#### 固定報酬率テーブル(年率・消費税等込)

計算基準額	固定報酬型			成功報酬併用型		
	当初2年間	2年経過後 (30%引下げ)	5年経過後 (50%引下げ)	当初2年間	2年経過後 (30%引下げ)	5年経過後 (50%引下げ)
2,000万円以下の部分	1.5400%	1.0780%	0.7700%	1.0230%	0.7161%	0.5115%
2,000万円超4,000万円以下の部分	1.4300%	1.0010%	0.7150%	0.8800%	0.6160%	0.4400%
4,000万円超1億円以下の部分	1.3200%	0.9240%	0.6600%	0.7700%	0.5390%	0.3850%
1億円超の部分	1.1000%	0.7700%	0.5500%	0.6050%	0.4235%	0.3025%